

2018年度

## 日本万国博覧会記念基金 助成先の事業紹介

今年度助成の42事業の中から、主な事業報告をご紹介します。

### Peace Art Project in ひろしま 「平和と美術と音楽と」

事業者：Peace Art Project in ひろしま実行委員会

交付決定額：110万円

実施期間：2018年4月25日～27日、8月2日～6日、9日～27日

実施場所：ウクライナ(キエフ・スラブチチ)、広島県(旧日銀広島支店)、  
長崎県(長崎平和会館)など

原発事故で放射能被害を受けた福島県、ウクライナと、原爆が投下された広島県、長崎県のアーティストたちが連携し、真の平和の構築を願い、世界に向けて美術や音楽を通じて夢や希望、癒し、祈りの心を訴求しました。

2018年4月末、広島と長崎のアーティストが「被爆バイオリン」を携えてチェルノブイリ原発慰霊祭と関連イベントに参加。広島・長崎からの訪問に、現地では大きな反響を呼び、感動的な交流の場となりました。また、8月の開催では、その1か月前に西日本豪雨が発生したことから、被災者への鎮魂と祈りから始まりました。国内外から約2,300人の参加があり、大盛況。

長崎では、被爆バイオリンと平和への願いを込めたアート作品のコラボレーションが行われ、アートを通して平和を発信する意義深いイベントとなりました。



### 第23回国際植物脂質シンポジウム

事業者：日本植物脂質科学研究会

交付決定額：150万円

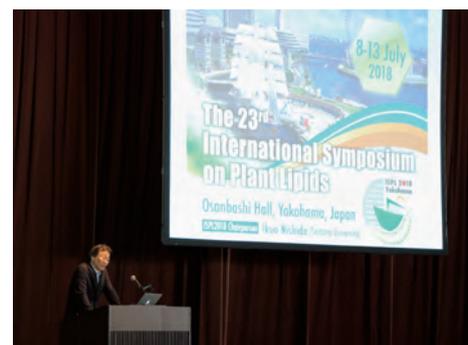
実施期間：2018年7月8日～13日

実施場所：神奈川県 大さん橋ホール

本会議は、1974年にヨーロッパの研究者を中心に始められた歴史と伝統ある国際会議です。植物脂質は古くから産業原料として生活に深く関わってきましたが、最近では植物や微細藻類の脂質を再生可能なバイオ燃料として利用する研究が注目されています。本会議は植物脂質研究の最先端を国内外に広く発信し、情報交換の場を提供するとともに、発展的な国際共同研究などの機会を生むことで、多くの課題を解決することを目的としています。

今回は日本で開催されたことにより、わが国の植物脂質科学研究の成果を広く国内外に発信し、本研究分野の発展に大きく寄与することができました。

巨大な会場空間には、講演スペース、ポスター展示、企業展示、ティーラウンジがあり、横浜港を一望できる会場は、国際会議の内容と合わせ、多くの参加者から大変高い評価を受けました。



## 日仏友好芸術交流事業 鼓童 × 太陽劇団『Kodo Soleilプロジェクト』

事業者：公益財団法人鼓童文化財団

交付決定額：220万円

実施期間：2018年7月17日～22日

実施場所：フランス 太陽劇団敷地内屋内公演会場 Théâtre du Soleil

国際的な舞台芸術活動を積極的に行ってきた太鼓芸能集団鼓童と、フランス現代演劇を代表する劇団として半世紀近く活動する太陽劇団による、舞台芸術を通じた交流プロジェクトです。鼓童の若いメンバー10人がパリ郊外にある太陽劇団の拠点に滞在し、公演、ワークショップなどを行い、太陽劇団やフランスの観客と交流を深め、今後の共同事業や交流に向けた基盤づくりを行いました。

公演の総入場者数は3,191人にのぼり、公演を重ねるごとに動員数も伸び、最終日は見切れ席や立見席も観客で埋まり、毎公演ともスタンディングオーベーション、拍手喝采が鳴りやみませんでした。鼓童のメンバーは滞在期間中、太陽劇団の団員やスタッフと寝食を共にし、楽器を持ち寄ってお互いの国の曲をセッションするなど、普段の生活では想像できなかった交流を持つことができました。ワークショップでは、和太鼓の演奏だけにとどまらず、日本文化や日本人の精神も伝えることができました。

たんに公演を行うだけではなく、互いの文化を学び、認め合うという信頼関係を築くことにつながりました。共に刺激を受け合い、今後のそれぞれの創造力を高め、そしてさらなる交流を深める確かな一歩となりました。



## 小松サマースクール2018

事業者：小松サマースクール実行委員会

交付決定額：140万円

実施期間：2018年8月3日～9日

実施場所：石川県小松市 里山自然学校 小松総合研修センター

高校生が国際的視野を持ち、未来を切り開く力を身につけることを目的とするサマースクールを開催。全国から60人の高校生を募集し、日米の大学生が指導する少人数の英語セミナーや、各分野で活躍する社会人との交流を行い、これからの生き方を考える機会を提供しました。

受講した高校生60人、社会人講師16人、大学生スタッフ約50人の総勢約120人が一堂に集い、1週間寝食を共にして、さまざまなことを語り合いました。こうした体験は高校生にとって初めてのことであり、ときに悩み、ときに語り、それぞれの方法で各人がかかえる壁を打破していく様子が印象的でした。

全国のできるだけ多くの高校生に参加してもらいたいと思いつつも、諸経費がかさみ参加費の値上げを検討せざるをえない状況でしたが、万博記念基金の助成が決まり、例年通りの参加費用で開催できました。



※写真は各事業者より提供